**平成３１年度　研究指導計画書**

平成　31年４月　21日

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学生氏名 | 服部凌典 | | 主任指導教員 | 岡本一志 | ㊞ |
| 学籍番号 | 1930099 | | 指導教員 | 由良憲二 | |
| 所　　　属 | 情 報 理 工 学 | 研究科 | 指導教員 |  | |
| 情報学 | 専　攻 |
| 博士（前期・後期）課程 | |
| 研究課題  および  修得目標 | （課題名）  間取り図を考慮した賃料推定に関する研究  （概　要）  間取り図が家賃の決定に与える影響を明らかにすることを目指し，間取り図を用いないモデルと用いるモデルの家賃の予測精度を比較する．  また，間取り図を復元することで予測に影響を与える特徴を明らかにする． | | | | |
| 研究計画・研究成果の概要  【1年次】  （1）間取り図を考慮した賃料推定モデルを実現するための研究を行なう．間取りの特徴量を主成分分析及び、ニューラルネットワークで抽出した後、物件の属性と組み合わせ学習させることで賃料の予測モデルを構築する．予測モデルには線形回帰、サポートベクター回帰、正則化を適用した線形回帰モデルを用いる。（4月〜5月）  （２）（１）の研究で得られる知見について，IEEE 8th Global Conference on Consumer Electronicsの交際学会で発表するための予稿原稿を書く（４〜5月）  （３）（１）の研究で得られる知見について，第33回人工知能全国大会にて発表を行なう．（６月）  （４）間取りの特徴量抽出を主成分分析に追加してニューラルネットワークで行う。また、（３）の学会で得られた知見を元に、追加実験を行う。（6月〜12月）  （５）（１）、（４）の研究について， (２)の学会にて発表を行う。（10月）  （６）（３）の学会で得られた知見を元に、追加実験を行う。（11月~３月）  （７）機械学習に関する知識習得のための輪講と進捗報告（週3回）  【2年次】  （1）（６）の実験で得られた成果を元に, 学術論文誌に論文を投稿する.（4月〜6月）  （2）（６）の研究で得られた知見を基に，データセットの拡大又は、新たなデータセットでの賃料予測モデルの開発を行う．（6月〜11月）  （3）修士論文中間発表準備（９月）  （４）修士論文作成（10月〜）  （５）機械学習に関する知識習得のための輪講と進捗報告（週3回） | | | | | |

＜備考＞

①本計画書は学生と主任指導教員が相談の上作成し，主任指導教員が署名・捺印する。

②作成した計画書（原本）は教務課に提出し，指導教員，所属専攻，学生はそれぞれ写しを保管する。